

会 議 録

会議名 (審議会等名)	平成 29 年度第 7 回小金井市廃棄物減量等推進審議会		
事務局 (担当課)	小金井市ごみ対策課		
開催日時	平成 30 年 2 月 13 日 (火)		
開催場所	小金井市中間処理場事務所棟 研修室 I		
出席者	委員	<出席者：10名> 岡山会長・溝入副会長・石田委員・北澤委員・杉本委員・山田委員・吉田委員・多田委員・林委員・岸野委員 <欠席者：5名>	
	事務局	藤田ごみ処理施設担当課長・石阪中間処理場担当課長・富田・高田・佐藤・玉井	
傍聴者の可否	可	傍聴者数	0
会議次第	1 開 会 会議録の確認について 2 報 告 燃やすごみ処理量の昨年度との月別比較について 未活用資源（可燃ごみに含まれる資源化可能物）の有効利用 方策の調査・研究に関する専門委員会について 清掃関連施設整備基本計画検討会議について その他 3 議 題 平成 3 0 年度一般廃棄物処理計画について（審議） 4 その他		
会議結果	別紙審議経過のとおり		
提出資料	別添のとおり		
その他			

(審議過程) 主な発言等

岡山会長	<p>只今より平成29年度第7回小金井市廃棄物減量等推進審議会を開催する。欠席は、齋藤委員、黒須委員、清水委員、波多野委員である。</p> <p>では、本日の配布資料について、事務局から確認をお願いする。</p>
玉井減量推進係主任	(配布資料確認)
岡山会長	<p>それでは、前回の会議録について確認する。前回の会議録は事前送付されているほか、本日机上に配布されている。ご意見、修正等の申し出があればこの場でお願いしたい。</p>
石田委員	<p>8ページの自分の発言で、「内部」が何の内部を指すのか分かりにくいため、内部の前に「ごみ対策課の」と明記してほしい。</p>
岡山会長	<p>では、そのほか修正箇所があれば2月16日までにお知らせ頂きたい。その後、公開手続きに入る。</p> <p>次に、本日事務局より提出された資料について、報告と説明を求める。</p>
玉井減量推進係主任	<p>(「燃やすごみの処理量の昨年度との月別の比較について」説明)</p> <p>(「平成29年度施策の実績報告(自己評価)中間報告の修正について」口頭説明)</p> <p>(「未活用資源(可燃ごみに含まれる資源化可能物)の有効利用方策の調査・研究に関する専門委員会報告書について」説明)</p> <p>専門委員会では、平成28年度から2年間実施した調査・研究の成果を、具体的な実施方法の提案を盛り込んだ形の報告書として取りまとめており、今回、完成版ではないが審議会に資料提出させて頂く。</p> <p>内容の構成は目次をご覧頂きたい。大項目1には、専門委員会の概要が記載されており、大項目2には、未活用資</p>

(審議過程) 主な発言等

	<p>源の具体的品目として、生ごみ、紙おむつ、古紙（雑紙）、廃食油の調査結果が記載されている。また、大項目3以降に、市の事業として迅速に取り組みやすいと判断された廃食油回収について記載されている。廃食油については具体的な事業化の検討がなされ、大項目4にご提案頂いた実施案が掲載されている。また、報告書の本文に加え、専門委員会で提出された資料を「資料編」としてまとめている。</p> <p>市としては、具体的な実施案を含んだ専門委員会の報告書を基に、来年度に実施の検討を行うことになる。</p> <p>本日の審議会に出された意見を踏まえて、事務局集約により修正を行う流れを考えているが、予算上、専門委員会の追加開催も可能である。専門委員会を開催し、報告書の精度を高めたいということであればご決定頂きたい。</p> <p>補足説明については岡山会長からお願いしたい。事務局からは以上である。</p>
岡山会長	<p>事務局から説明があったが、載せる予定の資料は概ね反映されていると思う。本日、ここで読み合わせをしていく時間はないため、後日、追加や修正したい事項があれば集約して反映したい。</p>
杉本委員	<p>シンクピアの液肥1%生成の部分は確かな数値ではないため削除頂きたい。また、シンクピアの実証実験について、小中学校に設置される生ごみ処理機をシンクピアに入れ替える場合と市内数箇所にて実証実験を行う場合の提案が混在しているため、分けて記載したい。</p>
林委員	<p>臨時に集まった会議の議事記録も資料に入れてほしい。</p>
岡山会長	<p>では、臨時と記載して資料に追加して頂きたい。専門委員会の開催は、追加で一度開催することによいか。</p> <p>(専門委員会委員同意)</p>
岡山会長	<p>では、2月22日、木曜日、午後3時から専門委員会を開催する。</p>

(審議過程) 主な発言等

富田減量推進係長	今月末を目指して進めている。
岡山会長	主なところとしては、市民説明会の開催とパブリックコメントに関すること、また、検討会議として何か一言付けるかどうかというところだった。何かご質問はあるか。
林委員	現状はどうなっているか。今の到達点が知りたい。
富田減量推進係長	<p>以前から報告させて頂いていたとおり、中間処理場の機能に関するものと、中町の蛇の目ミシン跡地にある缶・ペット、リサイクル事業所、布の保管などをどのように再配置するかについて、市としては中間処理場の敷地と二枚橋焼却場跡地を予定地として、2か所に分散して配置することで計画案を作成している。当初、候補地であった自治会など周辺地域の代表の方にご参加頂く会議を設置させて頂き、ご意見を伺う機会を設け、計画案についての説明をさせて頂いた。</p> <p>中間処理場の敷地に関しては、中間処理場の運営協議会の取扱いとなるが、協議会委員の皆様は今後計画を進めさせて頂くことについて一応のご理解を頂き、今後ご意見を頂きながら計画を進めていく。一方、二枚橋焼却場跡地周辺自治会等協議会の皆様からは、二枚橋を候補地として選定したことについて納得できる説明がされたとは考えておらず、今後、計画を進めるに当たっては、市内全域を対象とした候補地選定の検討を再度行うべきであるというご意見も頂いている。</p> <p>市としては、整備基本計画は計画として当初の予定どおり今年度末に策定する予定であるが、今後も予定地周辺の皆様のご意見を伺う機会を設けていく。</p>
林委員	配置案の絞り込みは終わっているのか。周辺住民との協議経過は分かったが、破碎についてなど、処理方法はどうか。
富田減量推進係長	ごみの処理方法の大きな変更点として、現在中間処理場

(審議過程) 主な発言等

	<p>にある破砕設備は設けず、積替え保管のみとし、そのまま民間処理施設に搬入する計画である。蛇の目ミシン跡地の仮移転については、清掃関連施設整備基本計画に盛り込む内容ではなく、新庁舎建設予定地のスケジュールの中で調整を図るものである。</p>
岡山会長	<p>この先は、不燃ごみや粗大ごみの中間処理も外部に委託するということにもなる。</p>
林委員	<p>わかった。</p>
多田委員	<p>びんは既に民間業者が回収しているが、民業を奪うことにならないか。また、二枚橋を粗大ごみのストックヤードにして新庁舎建設予定地を展示場にする計画かと思うが、現在のリサイクル事業所と比較してスペースが縮小されるため、リユース施策の後退に見える。シルバー人材センターの業務縮小にもなるのではないか。</p>
富田減量推進係長	<p>市のびん回収は北多摩中央リサイクル事業共同組合が受託しており、事前に協議を行っている。民間事業者が何らかの事情で処理の継続が困難となった場合に、回収を止めるという判断は出来ないため、将来的なことも考え、市として対応できる施設を備える必要がある。直ちに市が全て処理するというのではなく、今後の量の推移を見ながら事業者と調整させて頂く。</p> <p>また、リサイクル事業所の今後の事業の進め方については、販売方法が適切かどうかも含め今後協議させて頂く。リサイクル事業所の売上は、年に数回開催される感謝セール期間に集中しているため、常設の販売施設を設けるよりはイベント販売のようにポイントを絞った販売方法によりリユース施策を維持して行く考えである。</p> <p>シルバー人材センターの仕事の場の提供の視点についても検討を行い、整備事業が最終段階を迎える頃には、また違った形のパートナーシップが結べるのではないかと考えている。</p> <p>現在は、新品家具の格安販売やインターネット上での販</p>

(審議過程) 主な発言等

林委員	<p>売も多い。国分寺市もイベント販売をしており、大型家具を常設販売している自治体はさほど多くない。効率の良い販売方法を研究し、リユース事業のあり方を含めた検討として整備基本計画で取り扱っている。新庁舎の中にごみ処理の啓発に関する展示も含め、環境部としての展示スペースを検討している。</p> <p>市の特徴、ニーズによっても変わってくると思う。様々な意見を取り入れて検討して頂きたい。</p>
岡山会長	<p>最近では学生も新品を購入してすぐに捨ててしまう。練馬区は比較的熱心で、4箇所ほどリサイクルセンターを持っており、粗大ごみ系の物もあるが、カラーケースなどが大量に出て大量に売れている。食器も常備されていて転入者が購入していく。買い物が出来る場があるのも楽しいのかもしれない。</p> <p>では続いて、平成30年度一般廃棄物処理計画修正案の第3稿について、事務局から説明をお願いします。</p>
玉井減量推進係主任	<p>(「平成30年度一般廃棄物処理計画修正案第3稿」について説明)</p>
岡山会長	<p>それでは、事務局からの資料説明を踏まえて審議に入る。本日、結審とする予定である。ご意見がある方は、ご発言をお願いしたい。</p>
北澤委員	<p>29ページに追加した災害廃棄物の項目が目次に反映されていない。</p>
玉井減量推進係主任	<p>修正漏れである。追加させて頂く。</p>
林委員	<p>一般的に章や項目番号の後に点が入ると思うが、入れないのか。文章が繋がると読みにくい部分もある。</p>
富田減量推進係長	<p>市の公文書規定に基づくもので、統一的整理をしている。</p>

(審議過程) 主な発言等

岡山会長	では、目次には第7項目を追加して頂く。他にあるか。リサイクル推進協力店認定制度の要綱改正の件はよいか。計画では施策の展開「9事業活動における3Rの推進」に位置付けられており、前回の審議会でも少し時間を取って話し合った。ごみゼロ化推進会議の事業所部会ではどのような話になっているのか。
岸野委員	事業所部会ではそこまで話し合えていない。そんな中で4月1日施行と言われても困る。市と部会で内容を揉み合いながら改正案が出てくるのであれば納得できたが、そういったことがなかった。
玉井減量推進係主任	事業所部会には別に説明資料を渡している。要綱改正案を作成する前に話し合いの場を設けてはいないが、改正案の内容のまま4月1日から施行が決定しているものではないため、内容について事業所部会のご意見をお聞かせ頂き、反映できる部分は反映したいと考えていた。4月1日施行を急いでいるわけでもない。
岡山会長	審議会と同様の資料が渡っているそうだが、具体的な話はされたか。
岸野委員	事業所部会には渡っているが、他のまち美化部会、啓発部会には渡っていない。
林委員	事業所部会で話し合い、役員会に上げてもらえればいい内容かと思う。他の部会まで全ての意見を聞いていく必要はないのではないか。審議会の場に出ている意見としては、会長の言われた3R、食品ロス削減の取組みについてと石田委員の社員教育の内規整備の必要性についてだと思う。
岡山会長	ドギーバッグの取組みなどについては、別に制度を作る案も出ていたが、できれば一緒がいいと思う。既にリサイクル以外にもレジ袋削減など3Rに関する取組を認定している。事業所部会でも揉んでほしい。

(審議過程) 主な発言等

多田委員	事業所部会が提出した改善案では、市民や専門家を交えた審査会を設けるべきであると考えている。また、お店には有効期限を設け更新手続きを行うこと、大規模店と中規模店の認定を厳しくすることなどを要望した。緩くし過ぎているため、この内容で4月1日施行は認められない。
林委員	事業所部会の中で意見交換して頂きたい。
岡山会長	審議会の中では既に議論させて頂いた。別の問題として、リサイクル推進協力店の認知度向上についても指摘が上がったため、対策が必要だと思っている。 他に処理計画の内容でご意見はあるか。
林委員	17ページの目標の書き方で、同じ計画項目の場合は「計画項目5参照」として引用することとしたが、引用先の「計画項目5」の目標が「一」の場合は、全て「一」の記載でよいと思う。委員が改選された後に表記方法が議論されれば、また変更されるということか。
富田減量推進係長	委員は再任される場合もあるが、そう決定されれば変更することもある。表記方法は、確かにわざわざ引用するまでもないので「一」で統一する。
岸野委員	冊子「くらしの中のごみ減量」は、改訂版を作り全戸配布するのか。
玉井減量推進係主任	内容を改定して新たに発行する。全戸配布ではなく、市内の小学校4年生以上を対象に、環境教育の副教材として配布する。また、窓口配布やイベントなどでも活用する。
岡山会長	4年生の社会科の授業では地域のインフラ設備を見に行く。焼却施設や下水処理場が多いが、小金井市では中間処理場などになるのか。
富田減量推進係長	中間処理場の場合もあるし、中町の施設のこともある。学校に出張講座に来てほしいという場合もある。

(審議過程) 主な発言等

岡山会長	その時の副教材として活用するということかと思う。他はよろしいか。
林委員	確認だが、組成分析の年4回とは、法令に基づくものか。
富田減量推進係長	そうである。
岡山会長	<p>他にご意見が無いようなので、審議はここまでとしたい。今回頂いた修正提案については、会長、副会長に一任して頂きたい。</p> <p>これをもって、平成30年度一般廃棄物処理計画の審議は結審とする。審議にご協力頂き感謝する。今後、表現等の問題に関しては、事務局と会長、副会長にて調整し、市長に答申する。答申した処理計画については、写しを後日事務局から委員の皆さんに郵送する。予算成立を条件としている箇所等については、答申後に調整する場合もあることを予めご了承頂きたい。</p> <p>また、新年度に入って、任期中に平成29年度施策の実績報告に関する審議会を1回開催する方向で調整していく。開催日程については、事務局から改めて通知する。</p> <p>これをもって、閉会とする。</p>